

田園景観保全水路整備「横浜市泉区下飯田地区」

横浜市泉区下飯田地区は境川沿いに位置しています。環状4号線が整備され、住宅なども増えている中、地域の田園風景を残す貴重な地区です。

近年、ゲリラ豪雨の影響などで用水路（総延長約2.8km）に流れ込む水の量が多くなり、度々冠水被害が起こっていました。

また、雨量増加の影響で効率的に農作業が行えない状況でした。

泉区下飯田町水利組合では平成27年度に市単独事業の「田園景観保全水路整備事業」により環境に配慮した水路整備（泥溜め・余水吐）や堰の改修を行いました。

土地改良事業団体連合会は、それらの調査設計業務を受託しました。

【地区概要】 受益面積 17.50ha

【整備概要】 水路整備工 約130m ・余水吐工 1箇所 ・起伏堰 1箇所

水路整備

施工前



施工後



冠水対策の余水吐



泥(水)溜り(ワンド)



小魚などが生息できる環境を設置しつつ、組合の問題も軽減。整備後には、ドジョウの生息も確認できた。

角落しだった堰も、自動転倒になり、大雨時の堰上の危険も緩和された。

川から遡上してきたドジョウ

